

各関係機関長様

佐賀県農業技術防除センター所長

果樹カメムシ類の発生状況と防除の徹底について

県内各地に設置した予察灯及びフェロモントラップにおいて果樹カメムシ類の誘殺虫数が増加しています。また、一部のウメ、ブドウ園では、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシの飛来がみられています。

については、今後の園地への飛来に注意し、下記事項を参考に防除を徹底するよう指導をお願いします。



チャバネアオカメムシ

記

1. 発生概況

- 1) 県内各地に設置した予察灯およびフェロモントラップにおいて、5月中旬以降誘殺虫数が増加している(表1)
- 2) 県内の一部のウメ、ブドウ栽培園でカメムシ類の飛来が確認されている。

表1 予察灯及びフェロモントラップにおける果樹カメムシの誘殺状況(5月1~20日)

トラップの種類	地区	誘殺虫数(頭)				
		本年5月				平年
		1~5日	6~10日	11~15日	16~20日	16~20日
予察灯	佐賀市 大和町	13	13	44	46	37
	小城市 小城町	24	41	543	1845	48
	太良町 伊福	0	0	0	0	1
フェロモン	基山町 園部	5	4	35	23	3
	鹿島市 古枝	—	—	12	33	9
	唐津市 浜玉町	—	—	26	26	3
	唐津市 鎮西町	2	2	15	15	5
	伊万里市 南波多町	0	0	0	3	4
	小城市 小城町	8	6	11	20	7

※誘殺されているのは、主にチャバネアオカメムシ及びツヤアオカメムシである。

2. 防除対策

- 1) 飛来状況は地域や園地により異なるため、園内外をこまめに見回り早期発見・早期防除に努める。
- 2) 合成ピレスロイド系薬剤やネオニコチノイド系薬剤の残効期間は10~15日程度である。
- 3) ネオニコチノイド系薬剤は、50mm程度の降雨で防除効果が低下するため、散布後に同雨量以上の降雨があった場合は、再散布を行う。

- 4) 施設栽培では、開口部に防虫ネット（4ミリ目以下）を設置する。
- 5) 薬剤散布の際には、収穫前日数等使用基準を遵守し、周辺作物への飛散を防止する
- 6) 果樹カメムシ類の発生量については、当センターが発表する各種情報及び下記ホームページを参考にする。

農業技術防除センターHP : <http://www.pref.saga.lg.jp/kiiji00321899/index.html>

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部 〒840-2205 佐賀市川副町南里 1088 TEL (0952)45-8153 FAX (0952)45-5085
--